

もくじ

- P1 青少年を非行・被害から守る県民大会
- P2 青少年を非行・被害から守る県民大会講演要旨
第1回青少年育成セミナー
- P3 「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール作品募集
平成25年度青少年育成貢献団体・貢献者表彰
寄稿「わたしの主張について」吉川健次氏
- P4 復興バザー / みんな de クッキング ~!!
いわて親子フェスティバル in アイーナ / フォーラム家庭教育

青少年 いわて 2014.7

平成26年度『青少年を非行・被害から守る県民大会』を開催しました。

「ありがとう」の言霊が、子どもに自信を持たせる。 (講演より)

講演：「安心して生きられる」子どもの権利を守るために～虐待・いじめ問題への対応～
元警視庁警察官・子育てアドバイザー 幸島 美智子さん



7月16日(水)、いわて県民情報センター7階アイーナホールにて、「青少年を非行・被害から守る県民大会」を開催しました。県警音楽隊の演奏に始まり、昨年度の「わたしの主張」県大会最優秀賞と「社会を明るくする運動」作文コンテスト日本更生保護協会理事長賞の2人が発表、講演では子どもたちを取り巻く問題やネット・ケータイへの対応、子育てのポイントのお話に「大きな頷き」と「笑い」で会場が盛り上がりました。最後に参加者全員で大会決議を承認し終了しました。

【7・8月は『青少年の非行・被害防止県民運動強調月間』です】

大会決議表明をする 泉田将治氏
(岩手県青年団体協議会会長)

毎月第3日曜日は いわて家庭の日

岩手県青少年育成県民会議では、青少年を守り育てる運動として
「いわて家庭の日」を主唱しています。

推進協力：岩手県・岩手県教育委員会・岩手県警察本部



「青少年を非行・被害から守る県民大会」講演要旨

「安心して生きられる」子どもの権利を守るために
～虐待・いじめ問題への対応～

元警視庁警察官・子育てアドバイザー 幸島 美智子さん



子どもたちが安心して生きられる日本
でなくてはならないのですが、そうでは
ないのが現状です。子どもたちを取り巻
く問題として4つ上げさせていただきます。

1. **いじめ問題** 一番悪いのは『いじめをした子ども』で
す。2番目はそのように育てた『親』です。3番目は学
校かな。教育委員会はその後です。私は『いじめ』を
減らすことができと思っています。我が子がいじめっ
子にしなければ良いんです。子どもの常識は親が作って
いくもんなんです。『いじめは大っ嫌い！それは卑怯
だから、恥ずかしいことだから！』と語気を強めて言っ
てください。言い続けてください。

2. **校内暴力** 中学校の校内暴力は全国レベルのことで、
どこへ行っても先生は頭を悩ませています。

3. **ケータイ・スマホ問題** 非常に深刻です。私は依存症の
ことを心配しています。深夜までスマホをいじっている
ため、朝起きられない。遅刻が多くなる。欠席するよう
になる。不登校になり、そのまま引きこもりになる。こ
のようなケースが全国で多くおきています。

4. **子どもたちへの虐待** 虐待は非行につながっています。
虐待は、大きく4つに分けられます。

①身体的虐待 ②育児放棄(ネグレクト)

③異性、同性からの性的虐待 ④心的虐待

虐待は1つだけということはありません。心的虐待とネ
グレクト、身体的虐待と性的虐待、または3つ、あるいは
全てと様々混ざり合って子どもの心を傷つけています。

子育ての最終目標は、『自立』し『自律』した子ども
に育てることです。この2つを成し得て常識のある大人
に育て上げ、社会に送り出すことです。自分を律するこ
とができる大人、「『正義』と『礼儀』は親が教え
ろ！」と私は言っています。人生生きていく上で必要な
のは、テストの点数ではなく何事にも負けない図太い神
経だと思っています。障害に打ち当たっても、乗り越えられ
る、対応できる図太さが生きていくには必要です。

子育てにはスキンシップは欠かせません。スキンシ
ップが子どもの心を安定させることにつながります。子
どもが10歳までは『この子のために生きるんだ』、そう
いう覚悟をしてください。子どもは望んでいます。そう
いうふれあいを求めています。あとの10年、子どもは
自分を信頼してくれ寄り添ってくれることを望んでいま
す。手をかけ愛情を注ぐ10年、見守る10年、成長にあ
わせた子育てをしてください。

『褒めて育てる』より『ありがとう』を

子どもに『ありがとう』と言える場面をつくりましょ
う。言葉は子どもの心に残り、自分に自信を持つようにな
ります。「**ありがとう**」の言葉には**パワー**がありま
す。ぜひ、いろいろな場面で子どもに「**ありがとう**」の
声かけをしてみてください。

青少年育成セミナー

7月7日(月)、アイーナ7階会議室で、青少年の育成
に関わる方を対象とした第1回青少年育成セミナー(講
演・意見・情報交換会)を開催しました。講演では東洋
大学教授・浅間正通氏が「情報社会と心の教育」と題し
て、近年急速に進化したデジタルメディアが青少年の心
に及ぼす影響について話されました。

現代の青少年たちはデジタルネイティブ(生まれつき電子媒体と自然にな
じんでいる)であり、中高年世代は、アナログ世代。

コミュニケーションのパーソナル化、ひとりで出来ることを追及する情報化社
会が進み、結果として対社会性に問題がある青少年が増えている。

家庭電話機から携帯へシフトしたことによる功罪、利便性に潜む罠。選択
したものが正しいのか、取捨選択能力や判断能力を高めることが必要。

また、これからの青少年の成長のための提案として

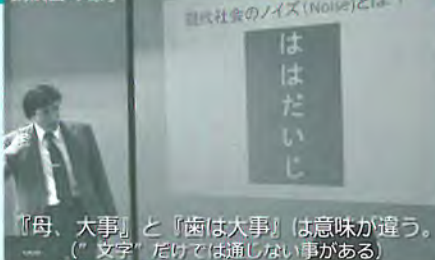
○それぞれの専門、得意分野を活かし、情報や技術の交換・交流を目的と
したインタージェネレーションプログラム(例:若者と中高年、都市と田
舎、高齢者の昔ながらの知恵と青少年のデジタル機器の取扱い)

○擬似的マイノリティ体験、非日常体験から得られる気づき、共感が求め
られるプログラム

○答えに至るプロセスを大切にした教育プログラム(例:フィンランドのKiVaプ
ログラム「Miksi?: なぜ?」)

講師:浅間正通(あさままさみち)氏 東洋大学ライフデザイン学部スポーツ学科教授・静岡大学名誉教授
専門分野:異文化交流、情報文化、他/趣味:空手

講演会の様子



意見・情報交換では、参加した団体の活動状況の報告や抱えている課題
について、積極的な意見交換が行われました。特に行政との連携、後継者の育
成については各団体ともに悩みを抱えていました。そんななかで

☆矢巾町では、町長等への要望を伝える機会がある。機会をとらえて要望等を伝えてみてはどうか。

☆子どもの自己肯定感を高めるには、自然体験が効果が高く、そうした機会をもっと設けるべきである。

☆以前と比べて、青年会活動、子ども会活動が少なくなっており、社会学習の機会も同時に減っている。

などの意見も出されました。今後も青少年の健全育成をより一層推進するため
にセミナーを開催していきます。<第2回は1~2月に予定しています>

7・8月は
『青少年を非行・被害防止県民運動強調月間』
です。



「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール 作品募集



募集テーマ

☆家庭や地域での親子、家族の
日常の姿や思い出
☆どのような家庭・家族を作
りたいか（夢や期待）
を、表現するもので「いわて家
庭の日」の周知、啓発にふさわ
しいもの。

応募資格

- ◇児童の部：小学生
- ◇生徒の部：中学生・高校生
- いずれも岩手県内の学校に在
籍していること。

応募締切

平成26年8月31日(日)

応募方法

在籍する学校にお問い合わせ
ください。

応募作品は10月にアイーナで、11月に北上市で展示します。



岩手県青少年育成県民会議表彰

6月25日(水)、県民会議通常総会の席上で平成25年
度の青少年育成指導者及び運動功労者の表彰を行いました。

この表彰は岩手県内で、優れた活動を地道に展開し
ている青少年団体や青少年指導者を表彰し、その活動
を奨励するとともに、青少年の健全育成運動を県民に
周知することを目的に行っているものです。

青少年育成指導者

南黒沢 由紀子さん（日本ボーイスカウト岩手連盟）

大宮 優子さん（ガールスカウト岩手県連盟）

佐藤 亮さん（江刺警察署杯さわやか少年野球大会実行委員会）

小原 八志男さん（北上地区少年警察ボランティア協会）

江刺 由紀子さん（読書ボランティア「おはなしころりん」事務所）

高橋 孝さん（塚の山少年隊）

太田原 弘さん（元盛岡市青少年問題協議会）

西村 義松さん（宮古市少年センター）

中田 友和さん（Little Bird: リトルバード）

青少年育成運動功労者

高橋 裕喜子さん（矢巾町青少年育成町民会議）

佐々木 哲宏さん（滝沢市青少年育成市民会議）

関根 清正さん（洋野町教育振興会）



わたしの主張について

吉川 健次

(雫石町教育委員会教育長)

中学生が夢や日常感じたことなどについて
発表する県大会が、平成26年9月18日(木)
に雫石町・野菊ホールで開催される。
各地区の代表者等18名によって競われるこ
とになる。

私も中学生の頃、校内弁論大会に出て、惨
敗したことがある。今思えば論旨が甘かった
ことや、本気になって自分の意見を練り述べ
たかについて疑問が残る。その点、県大会に
出場する中学生達は、しっかりしている。

私は、中学校や教育事務所に勤務したこ
とがあり、「わたしの主張」に関していくらか
でも携わった経験がある。

ある年、中国から転校してきた中学生がい
た。その生徒は、日本の中学生は恵まれた環
境で暮らしているが、授業に対する真剣さや
努力のしかたは、劣るといった内容であり、
日本の中学生に対して警鐘を鳴らした。地区
大会、県大会で優勝し、東北大会に出場し
た。全国大会出場間違いなしと思っていたが、
東北大会は書類審査であり、残念ながら落
選してしまった。慣れない生活でありなが
ら、日本語を駆使し、精一杯訴える姿を見
せる場を設定できなかったことに悔いが残る。

その後、地元の高校に優秀な成績で入学
し、国際関係の大学に進学したと聞してい
る。今はきっと、日本と中国の架け橋とな
って活躍しているに違いない。

この他、校内のいじめの撲滅や両親に感謝
し家業を継ぐ決心をしたことなどの例が沢山
ある。

中学生がこのような考えを発表したり、そ
れを聞く機会が得られたりすることは、大変
有り難いことである。同年代の生徒の貴重な
意見を聞く機会を作ってくれた岩手県青少
年育成県民会議に感謝する。

(岩手県青少年育成県民会議理事)

平成26年度 わたしの主張岩手県大会

期日:平成26年9月18日(水)

会場:雫石町・野菊ホール

発表者:各地区代表者18名

入場無料



H25大会の模様から

6/15

復興バザー

6月15日(日)、
『第9回アイーナ復興バザー』が行われました。青少年活動交流センターは、「書籍・CD類」と「雑貨」のブースを担当しました。参加した6人の高校生、大学生ボランティアは商品の陳列から商品説明や価格設定、来場者への声かけまで元気いっぱいの笑顔で活動していました。

【次回は、10月5日(日)です】



7/5

みんなdeクッキング~!!

~頑張るママにホッと一息タイム~

7月5日(土)、アイーナ6階調理実習室で実施しました。事前に試作をして臨んだボランティアの学生8名と参加した子ども11名が3つの班に分かれて、調理。コックさんの指導のもとでサラダのドレッシングやミネストローネを作り、おいしく出来上がった料理は、別プログラムで時間を過ごしていたお母さんと一緒にいただきました。ボランティアは、子どもたちのサポートをしていました。



ボランティアが活躍しました。

参加者募集中です

第1回いわて親子・家庭フォーラム

フォーラム家庭教育

~子ども・家庭・地域をつなぐ子育てを目指して~

とき：8月24日(日) 13:00~16:10
会場：住田町農林会館(住田町世田米)
参加費無料、参加申し込みは8月9日(土)まで
分科会テーマ

- ◇「しつけと生活習慣について」
- ◇「食育について」~子どもの肥満について~
- ◇「情報教育について」~スマホの怖さ~
- ◇「反抗期や思春期の子育てについて」

4つの分科会に分かれて、子どもの教育や生活習慣について話し合い、子育てについての理解を深め、家庭教育の充実、地域の教育力の向上を図ります。お申込みは、『県民会議』まで。

いわて親子フェスティバル in アイーナ

10月5日(日)は、アイーナで一日中遊んじゃおう!

わんこきょうだいやエコロルちゃん、防災戦隊「ホウライオー」も来るよ。

- ☆くぼたまさとの工作教室(要申し込み)
- ☆リコーサイエンスキャラバン
- ☆親子でエコクッキング
- ☆親子で遊ぼうコーナー etc

とき：10月5日(日) 10:00~16:00
会場：いわて県民情報交流センター(アイーナ)
参加費無料・当日参加できます。

(事前申し込みが必要なプログラムがありますので、HPをご覧ください)

☆当日は「アイーナ復興バザー」も行われます。

9/1募集開始



青少年なやみ相談室



相談電話 019-606-1722

相談受付時間 午前9時~午後4時(月・木のみ午後8時まで)

どうして良いか分からない。
困っているとき、苦しいとき、不安なとき。
思い切って電話してみませんか?
相談は無料です。秘密は固く守ります。



相談室ブログ <http://blog.goo.ne.jp/ya-nandemo>

ホームページ

(公社)岩手県青少年育成県民会議

<http://www12.ocn.ne.jp/~ipayd/>

青少年活動交流センター

<http://www.aiina.jp/seishounen/>

SNS

Facebook (お友達、随時募集中)

青少年活動交流センター / Ya-center Aiina

twitter ya_center

情報発信中

頑張る「いわての青少年」を応援します!

2016

広げよう 感動。伝えよう 感謝。



希望郷

いわて国体

第71回国民体育大会

希望郷

いわて大会

第16回全国障害者スポーツ大会